

磐梯山の火山活動解説資料（平成 24 年 1 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 21 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2～3、図 6～7）

剣ヶ峰（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラでは、山体北側火口壁からの噴気の高さは 27 日に一時的に 200m となりましたが、概ね 100m 以下で噴気活動は低調な状態が続いています。

18 日に陸上自衛隊東北方面総監部の協力により実施した上空からの観測では、沼ノ平及び山体北側火口壁の噴気及び地熱域¹⁾の状況に特段の変化は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

・地震や微動の発生状況（図 4～5）

火山性地震は少ない状況が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 8～9）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

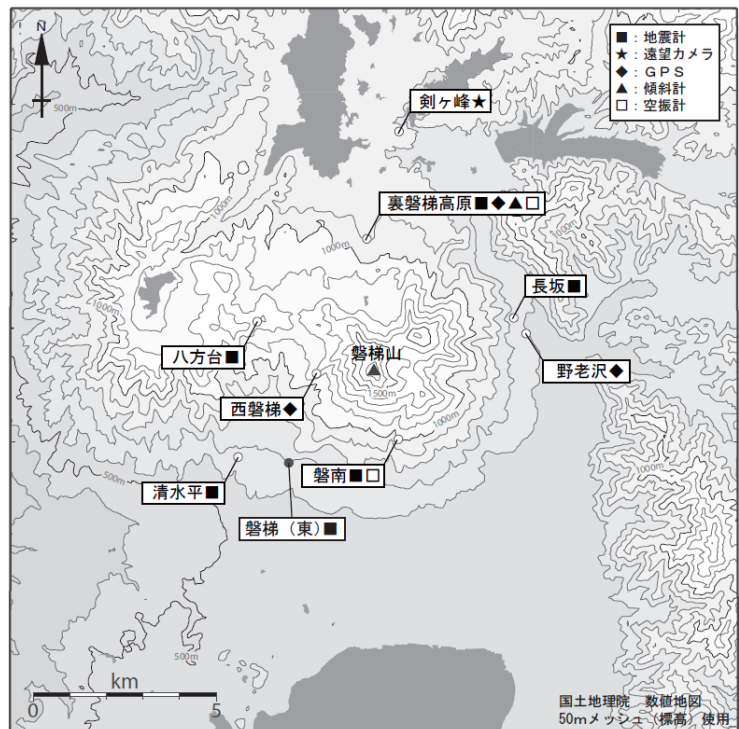


図 1 磐梯山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 2 月分）は平成 24 年 3 月 8 日に発表する予定です。

※この記号の資料は、気象庁のデータの他、国土地理院のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。



図 2 磐梯山 山体北側火口壁の噴気の状況（1 月 25 日 13 時 47 分頃）
剣ヶ峰（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラによる。
実線赤丸で囲んだのが、山体北側火口壁からの白色噴気で高さは 200m。

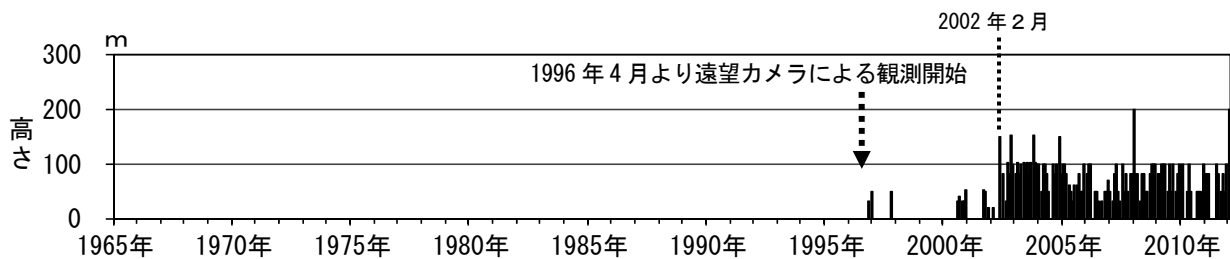


図 3 磐梯山 月最大噴気高（1996 年 4 月～2012 年 1 月）
2002 年 2 月以前は定時(09 時、15 時)及び随時観測による高さです。
2002 年 2 月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。

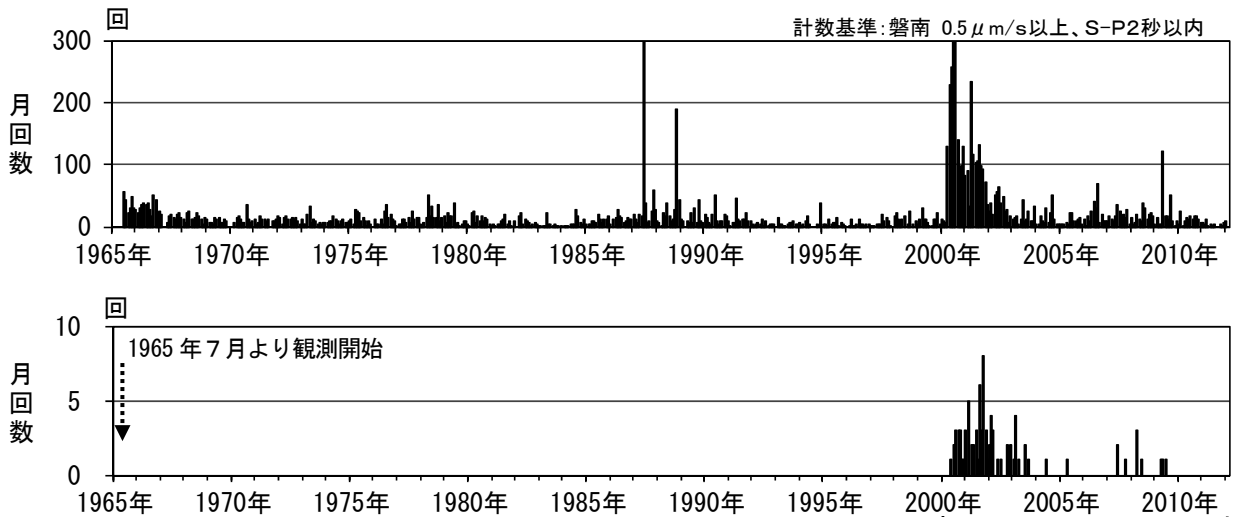


図4 磐梯山 上段：月別地震回数(1965年7月～2012年1月)
下段：月別微動回数(1965年7月～2012年1月)
注) 1998年より計数基準をS-P5秒以下からS-P2秒以下に変更しました。

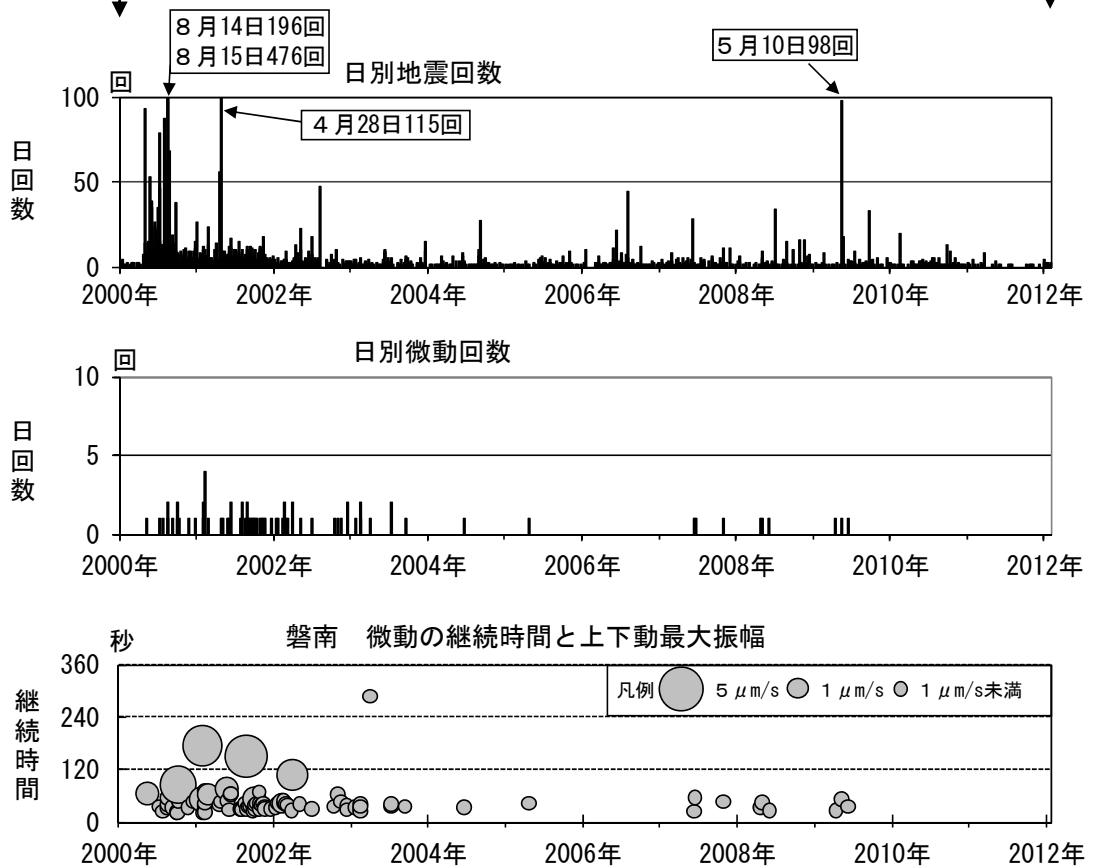


図5 磐梯山 最近の地震と微動の活動経過図（2000年1月～2012年1月）

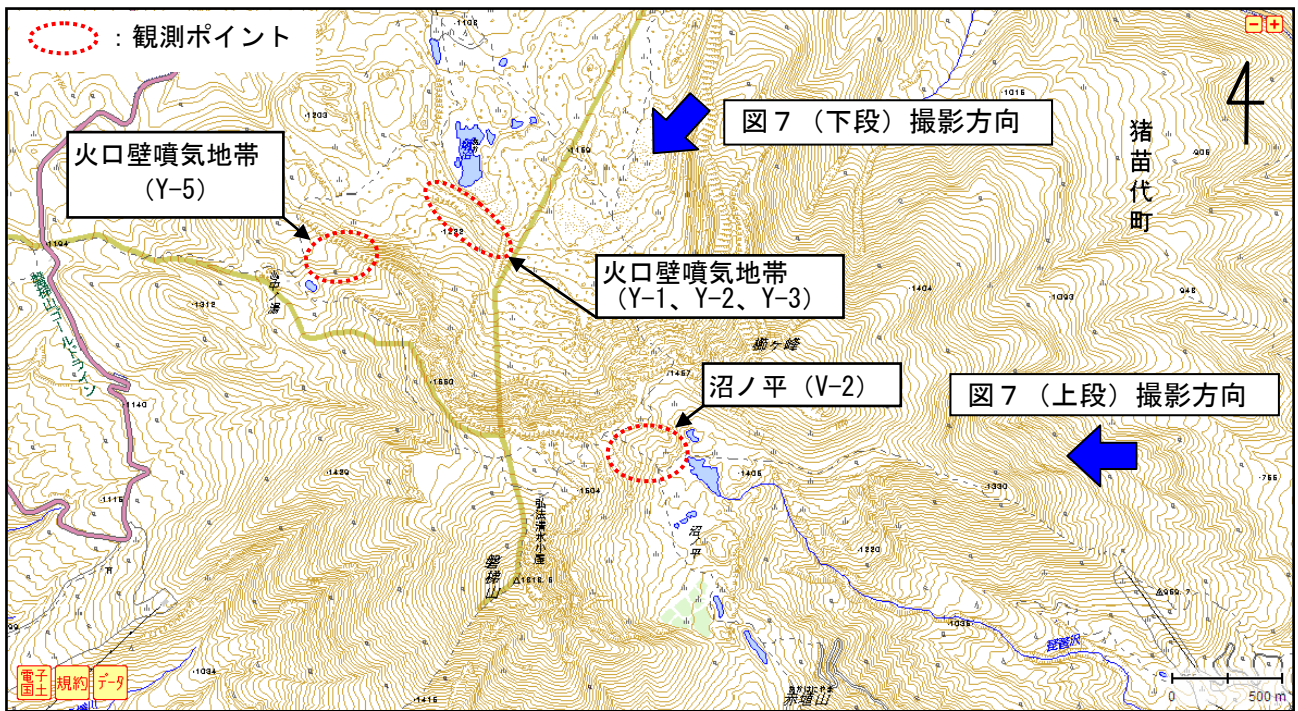


図 6 磐梯山 観測ポイント及び図 7 の撮影方向

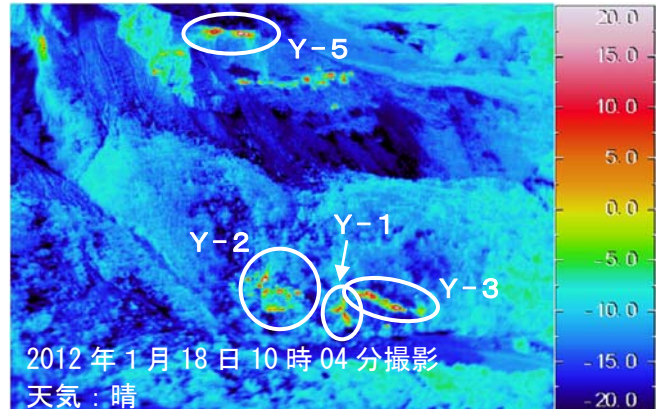
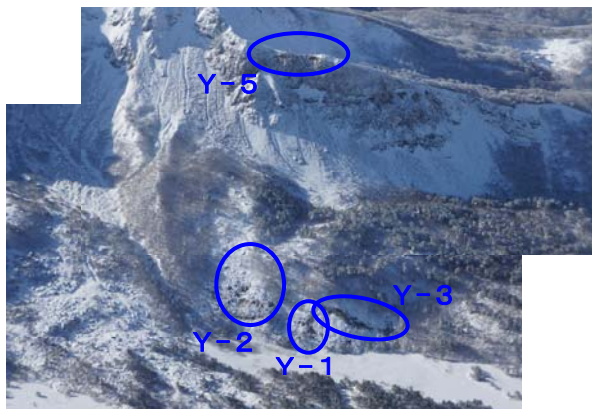
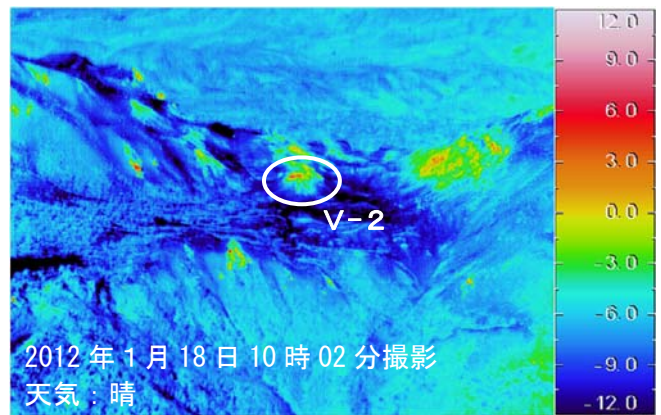


図 7 磐梯山 可視画像（左）と地表面温度分布¹⁾（右） 2012 年 1 月 18 日撮影

上段：沼ノ平（V-2）周辺

下段：火口壁噴気地帯（Y-1、Y-2、Y-3、Y-5）周辺

実線丸で囲んだのが地熱域で、特段の変化はありませんでした。それ以外の箇所温度が高く表現されているのは、日射による影響と考えられます。

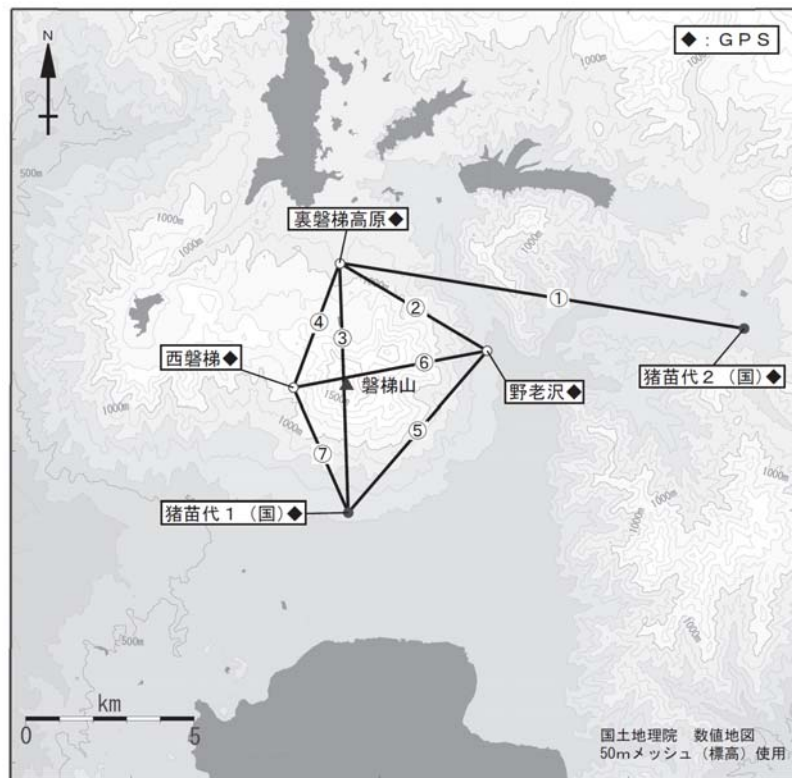


図 8 磐梯山 GPS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。（国）：国土地理院
GPS 基線①～⑦は図 9 の①～⑦に対応しています。

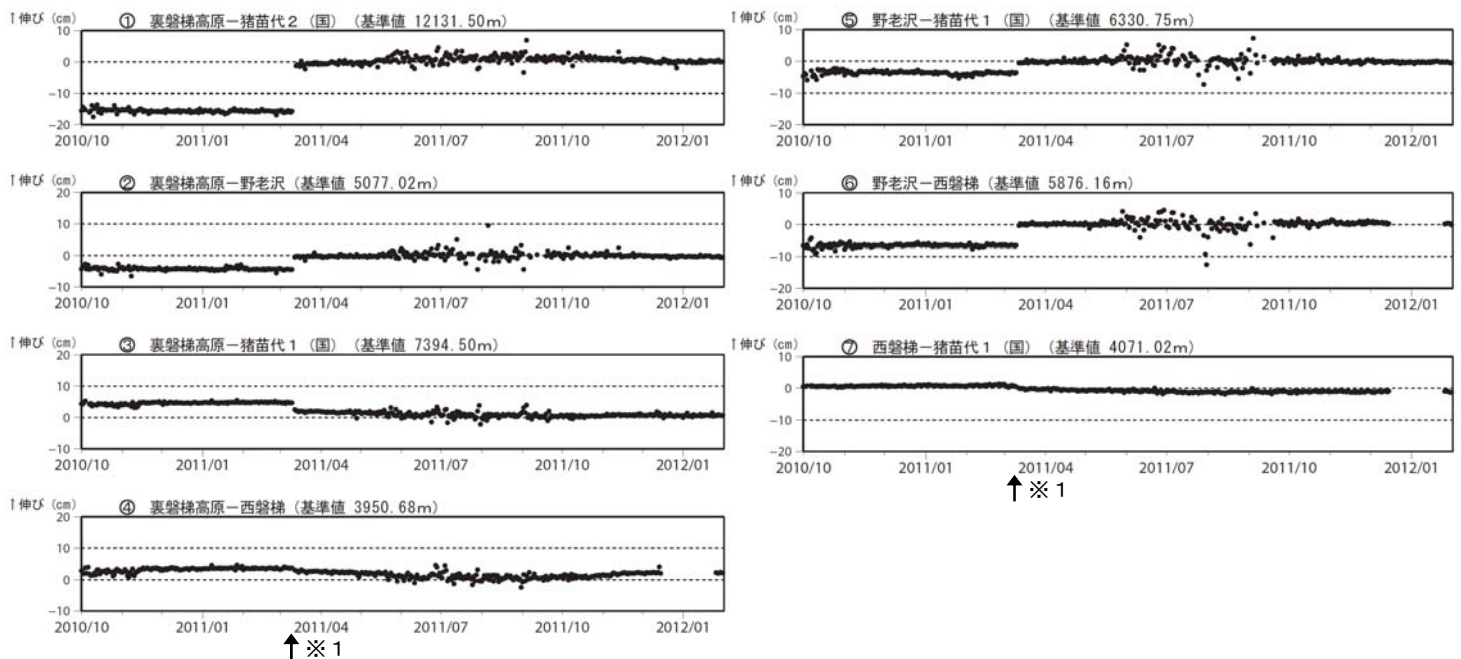


図 9※ 磐梯山 GPS 基線長変化図（2010 年 10 月～2012 年 1 月）

2010 年 10 月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。また、掲載する基線を一部変更しました。

①～⑦は図 8 の GPS 基線①～⑦に対応しています。

グラフの空白部分は欠測を表しています。

※ 1：2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響による